

損 害 補 償 請 求 書

殿 海岸法第二十三条第五項の規定に基づき、次のとおり損害補償を請求します。		請求年月日		年	月	日
		請求者	住所			
従事者	住所	生年月日	(	年	月	日
	ふりがな 氏名	職業				男・女
事	(事故発生場所)	(事故発生の日時)				
	(事故又は疾病の発生の原因及びその状況)	年	月	日	午前	時
	(損害補償の制限に該当する事実)				午後	分
	<input type="checkbox"/> あり (内容: )					
	<input type="checkbox"/> なし					
損害	損害補償の請求額の合計	円				
	損害補償の種類	請求額				
		円				
		円				
		円				

償		円			
円		円			
円		円			
補償基礎額	補償基礎額	円	続柄		
	基礎額	円			
補償基礎額の内訳	扶養加算額	円× 人= 円	氏名		
		円× 人= 円		生年月日 (年齢)	
		円× 人= 円			続柄
		円× 人= 円			
親族					

備考

- 1 請求者が氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 該当する□に印を付け、「男・女」及び「午前」について、該当するものを○で囲むこと。

- 3 従事者の住所及び職業は、当該従事者が死亡した場合は、死亡した当時の住所及び職業について記載すること。
- 4 損害補償の制限に該当する事実の欄は、従事者が、故意の犯罪行為若しくは重大な過失により、又は正当な理由がなく療養に関する指示に従わないことにより、業務に係る負傷、疾病、障害若しくは死亡若しくはこれらの原因となつた事故を生じさせ、又は業務に係る負傷、疾病若しくは障害の程度を増進させ、若しくはその回復を妨げたと認めるに足りる事項について記載すること。
- 5 補償基礎額等及び扶養親族の欄は、療養補償又は介護補償に限って請求をする場合は、記入することを要しない。